

# 「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 10 日

事業名称		心身障害児福祉手当支給事業費 [心身障害児福祉手当支給事業]									
予算科目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費	事業番号	15
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	障害福祉		課		庶務		係		課長名	大法 努	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 3		
【施策名】 障害者福祉の推進								総合計画書(ページ)	55		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	20歳未満の身体障害者手帳4級以上または愛の手帳4度以上の所持者				→ 対象となる障害児数(20歳未満の身体障害児・知的障害児)						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	20歳未満の身体障害者手帳4級以上または愛の手帳4度以上の所持者身体障害者手帳4級以上または愛の手帳4度以上を所持し、保護者が市内在住である場合、手当を支給する。				→ 手当受給者数						
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	心身障害児福祉手当(月額: 6,100円)を支給した。				→ 手当支給額						
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標		
	対象指標	①の数値	人	286	284	291					
	成果指標	②の数値	人	242	241	229					
	目 標	②の目標値	人	240	250	260					
		目標値設定の考え方									
3 経費	事業費(実績)		円	17,250,801	17,671,700	17,391,100		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	17,250,801	17,671,700	17,391,100					
		特定財源	円	0	0	0					
	(うち受益者負担)		円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2					
		所要人数(再任用)	人								
	職員人件費(再任用以外)		円	1,650,600	1,648,800	1,662,000					
職員人件費(再任用)		円									
事業費+人件費		円	18,901,401	19,320,500	19,053,100						
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和44年度								
	(2) 環境の変化		・昭和44年4月 心身障害児を監護し、または養育している者に手当(月額: 6,100円)を支給することにより、障害児の福祉の増進に寄与する。 ・近年、とりわけ軽度の知的障害児が増加傾向にある。								

事業名称	心身障害児福祉手当支給事業費 [心身障害児福祉手当支給事業]			
担当部署・課長名	障害福祉	課	庶務	係 課長名 大法 努

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)	
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ  <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記） 対象者が増加傾向にあり、支給金額が増えている。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 障害児への市制度の手当等の支給状況について各市へ調査を行い、情報収集を行った。	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 対象者の増加は変わらず、支給金額が増えているため、支給要件等見直しを検討する必要がある。	
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 障害者福祉の推進 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名： )	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）  <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 対象者が増え、支給金額が増加していることを踏まえて、同様の他の手当（心身障害者福祉手当、難病患者福祉手当等）と比べて支給要件が緩やかであるため、支給要件の見直しを行うことも検討する必要がある。	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等	
	支給要件の見直しをすることにより、受給資格を喪失する者が出るが見込まれるため、適切な見直しの根拠を示し、受給者の理解を得る必要がある。	